

平成18年3月中間期 会社説明資料

平成18年6月



日本ジャンボ株式会社

(J A S D A Q ・ 9 6 7 7)

平成18年6月現在

商号 日本ジャンボ株式会社

本社 静岡県熱海市泉山下27番1

代表者 代表取締役社長 村松 潔

設立 設立・昭和35年12月3日

資本金 4,271百万円

売上高 10,230百万円（平成17年9月期）

従業員 261人

| | |
|----------|--|
| 昭和35年12月 | 日本ジャンボ(株) (静岡県熱海市伊豆山仲道463番の4) 設立 |
| 昭和39年11月 | 湯河原総合現像所 (神奈川県足柄下郡湯河原町) 開設 |
| 昭和50年4月 | 現像所向け用品の開発・販売を目的とし、エフエル(株)神奈川県足柄下郡湯河原町) 開設 |
| 昭和53年10月 | 湯河原総合現像所改築 |
| 昭和57年2月 | 現像所向け料金計算システムの開発・販売を行うため、子会社日本システム(株) (静岡県熱海市) を設立 |
| 昭和63年9月 | 本社社屋 (静岡県熱海市) 新設。同時に泉事業所を併設し、日本初のマキシラボシステムを設置 |
| 平成元年12月 | 本社移転 (静岡県熱海市泉) [現在地] |
| 平成6年7月 | 大阪地区のカラー写真処理増大に対処するため、大阪府摂津市に新大阪現像所を設置 |
| 平成6年11月 | 九州に拠点を持つ(株)ミヨシの発行済株式の全てを取得し、当社の子会社となる |
| 平成9年2月 | 今後の事業の拡大のために、温泉施設を経営する万葉倶楽部を設立 |
| 平成12年4月 | (株)エス・ビー・エムが株式交換により、当社の完全子会社となる |
| 平成15年10月 | 子会社(株)エス・ビー・エムと合併 |
| 平成16年1月 | ビル管理部門を100%子会社(株)エス・ビー・エムとして分社 |

当社グループは、当社及び子会社9社、その他の関係会社1社で構成され、事業はD.P.E.（写真の現像・焼付・引伸しサービス）及びフィルム、写真用品等の販売（総合写真事業）を主に行っているほか温泉施設の経営（温泉事業）等を営んでおります。

平成18年3月中間期 決算概要

Jumbo

日本ジャンボ株式会社

(JASDAQ・9677)

当写真業界におきましては、デジタルカメラの伸び率こそ鈍ってきたものの堅実な伸びを示し、普及率は飛躍的に高まっています。今後もより一層のインターネットプリント等デジタル対応のビジネス領域の拡大が急務となっており、依然として当ラボ業界を取り巻く環境は厳しいものとなっております。また、温泉事業においては温泉市場が拡大しているとはいえ、相次ぐ温泉施設のオープンは地域や規模による格差も現れてきており、今後も顧客ニーズに対するサービスの提供に努め、付加価値の高い施設が必要となっております

損益計算書（連結）

日本ジャンボ株式会社

（単位：百万円）

| | 17年3月中間期 | 18年3月中間期 | 前期比 | 備考 |
|-----------------------|----------|----------|--------|--|
| 売上高 | 10,676 | 13,763 | 28.9% | |
| 売上原価 | 7,308 | 8,805 | 20.5% | |
| 販売費及び一般管理費 | 2,721 | 3,199 | 17.6% | |
| 営業利益 | 646 | 1,758 | 172.1% | |
| 営業外収益 | 135 | 188 | 40.0% | |
| 営業外費用 | 220 | 231 | 5.5% | |
| 経常利益 | 561 | 1,715 | 205.7% | |
| 特別利益 | 1 | 132 | | |
| 特別損失 | 1,145 | 806 | -29.6% | 「固定資産の減損に係る会計基準」の適用につき、691百万円の減損損失額を計上 |
| 中間（当期）純利益 又は純損失（△） | △ 858 | 717 | | |

貸借対照表（連結）

日本ジャンボ株式会社

| （単位：百万円） | 17年3月中間期 | 18年3月中間期 | 増減 | 備考 |
|---------------------|----------|----------|-------|----|
| 流動資産 | 5,797 | 10,166 | 4,369 | |
| 固定資産 | 27,070 | 28,231 | 1,161 | |
| 資産合計 | 32,893 | 38,406 | 5,513 | |
| 流動負債 | 5,951 | 7,125 | 1,174 | |
| 固定負債 | 11,916 | 15,557 | 3,641 | |
| 負債合計 | 17,867 | 22,683 | 4,816 | |
| （少数株主持分） | 243 | 401 | 158 | |
| 資本金 | 4,271 | 4,271 | | |
| 資本剰余金 | 4,766 | 4,797 | 31 | |
| 利益剰余金 | 5,743 | 6,252 | 509 | |
| 資本合計 | 14,781 | 15,321 | 540 | |
| 負債、少数株主持分 及び資本合計 | 32,893 | 38,406 | 5,513 | |

キャッシュ・フロー計算書（連結）

日本ジャンボ株式会社

| (単位：百万円) | 17年3月中間期 | 18年3月中間期 | 比較増減 | 備考 |
|----------------------|----------|----------|-------|--|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 529 | 3,039 | 2,510 | 税金等調整前中間純利益10億4千2百万円、減価償却費7億円、減損損失6億9千1百万円、売上債権の減少5千3百万円など |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 1,944 | △ 796 | 1,148 | 有形固定資産の取得により4億3千8百万円支出、投資有価証券の取得により7億4千2百万円支出など |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 481 | 312 | △ 169 | |
| 現金及び現金同等物の 増加額 | △ 932 | 2,555 | 3,487 | |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 2,733 | 2,680 | △ 53 | |
| 現金及び現金同等物の 中間期末残高 | 1,995 | 5,236 | 3,241 | |

セグメント別売上（連結）

日本ジャンボ株式会社

（単位：百万円）

| セグメント | 17年3月中間期 | | 18年3月中間期 | | 比較増減 | |
|--------|----------|--------|----------|--------|-------|-------|
| | 売上高 | 構成比 | 売上高 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 総合写真事業 | 7,092 | 66.4% | 7,825 | 56.8% | 733 | 10.3% |
| 温泉事業 | 3,278 | 30.7% | 5,585 | 40.6% | 2,307 | 70.4% |
| その他事業 | 310 | 2.9% | 359 | 2.6% | 49 | 15.8% |
| 合計 | 10,681 | 100.0% | 13,771 | 100.0% | 3,089 | 28.9% |

総合写真事業

平成17年11月1日に五十鈴産業有限株式会社より営業を譲り受け、首都圏及び九州地区での営業基盤の強化と新規顧客の獲得など、事業収益の維持拡大に取り組んできました。

温泉事業

昨年オープンしました横浜みなとみらい万葉倶楽部が好調に推移し、今期は新館の予定がないため、初期投資費用の計上がなく大幅な増収増益となりました。

その他事業

ビル管理事業につきましては、堅調に業績を維持しており継続的に安定した経営を維持しています。また、既存取引先の新規業務受注により売上高は順調に増加しております。

平成18年9月期 業績予想



日本ジャンボ株式会社

(J A S D A Q ・ 9 6 7 7)

| （単位：百万円） | 17年9月期 | 18年9月期（予想） | 増減 |
|----------|---------|------------|--------|
| 売上高 | 21,381 | 24,388 | 14.1% |
| 経常利益 | 547 | 2,311 | 322.5% |
| 当期純利益 | -845 | 874 | |
| EPS（円） | -114.70 | 118.64 | |
| ROE | -5.6% | 5.7% | |

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

経営方針

当社の企業集団は、D. P. E. 及びフィルム、写真用品等の販売を主に行っている総合写真事業と温浴施設の経営等の温泉事業を営んでおります。総合写真事業におきましては、「よりよい品をより安く」「取次店との共存共栄」「写真の真の姿の追求」の3つの精神を経営理念としております。会社設立時からの営業戦略として、それまでの業界通念を打破して、写真専門店の店頭のみで行っていたD. P. E. の処理サービスを業種・業態の壁を取り払い、写真と全く関係のない写真取扱いチェーン店を開設して、写真業界の流通サービス業務に革命的なシステムを導入し、また、カラープリントの低価格戦略面でも業界のプライスリーダーとして積極的に対応しております。また、温泉事業におきましては、極上の温泉だけが約束できるリラクゼーションライフをお客様に堪能していただくことを経営理念としております。

今期の取り組み

写真業界におきましては、カメラ付き携帯電話の普及などデジタル領域の拡がりに伴い、消費者のニーズはますます多様化し、また、ラボ事業の再編の動きなどが活発化していくと思われれます。このような厳しい経営環境の中で、当社は、今後更にネットワークの整備を行いインターネットプリント等のデジタルサービスの充実と、銀塩写真フィルムの量の確保及び生産効率のアップを始めとする経営の効率化を図り、環境の変化に的確に対応できるサービス体制に取り組んでまいります。

売上高・経常利益の推移（連結）

日本ジャンボ株式会社

(百万円)

30,000

25,000

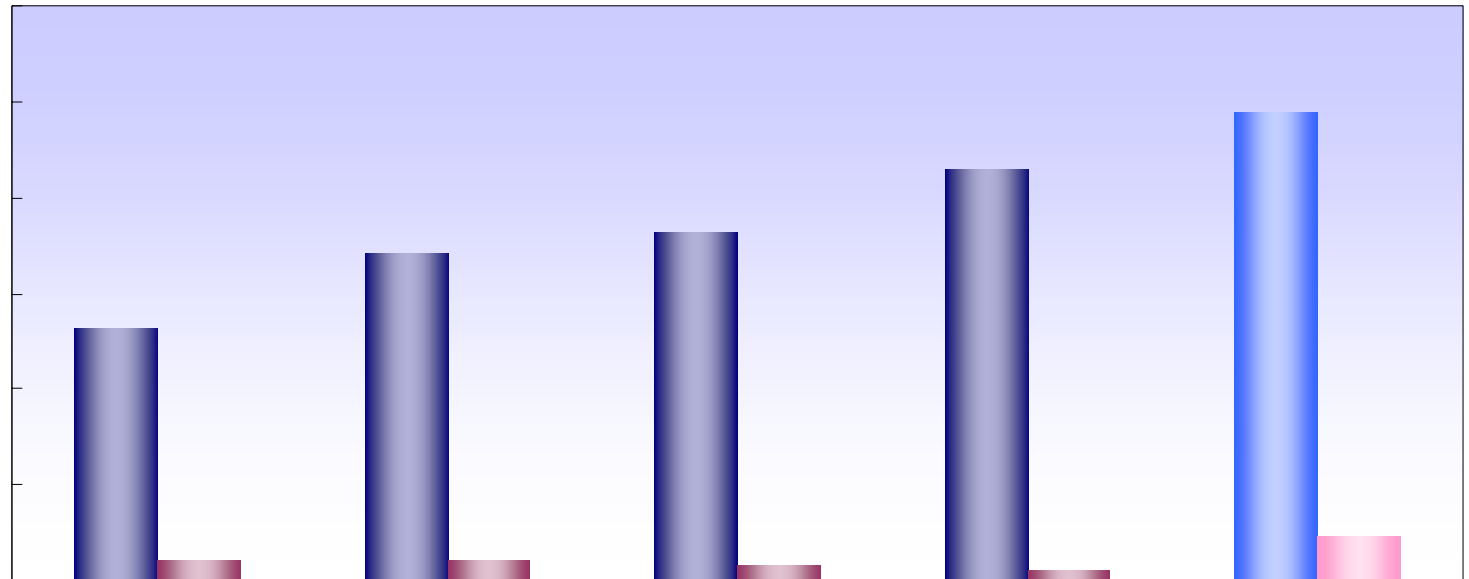
20,000

15,000

10,000

5,000

0



14年9月期

15年9月期

16年9月期

17年9月期

18年9月期
(予想)

■ 売上高

13,111

17,164

18,187

21,381

24,388

■ 経常利益

1,036

1,043

804

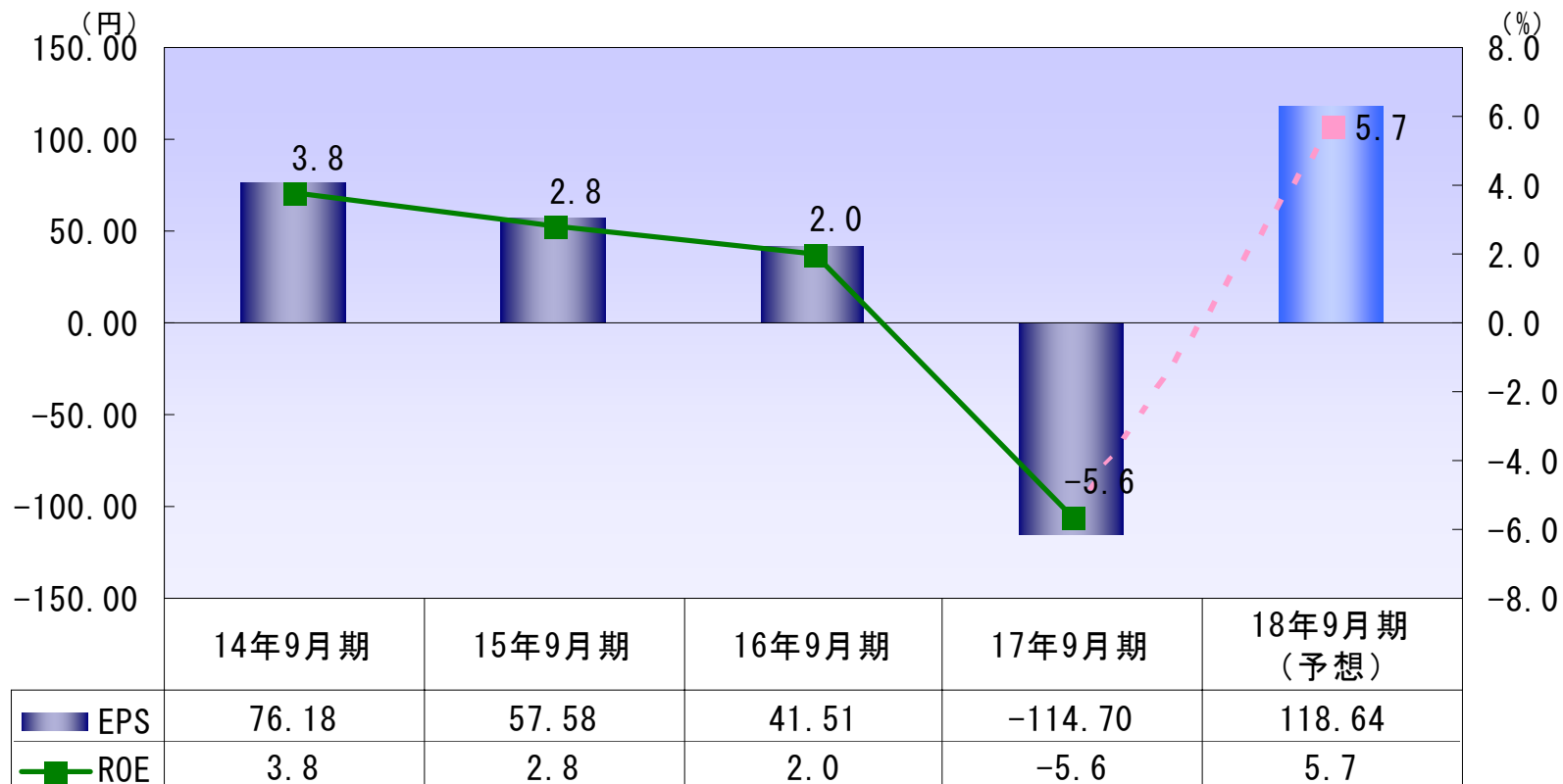
547

2,311

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

EPS・ROEの推移（連結）

日本ジャンボ株式会社



EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



日本ジャンボ株式会社

管理本部

TEL : 0465-60-2500

E-mail : info@mail.jumbo.co.jp